

昭和18(1943)年7月

株式会社武州銀行、株式会社第八十五銀行、株式会社忍商業銀行および株式会社飯能銀行の埼玉県下4銀行が合併し、株式会社埼玉銀行として設立される。

昭和20(1945)年5月

株式会社不動貯金銀行、株式会社安田貯蓄銀行、株式会社大阪貯蓄銀行、株式会社日本貯蓄銀行、株式会社東京貯蓄銀行、株式会社内国貯金銀行、株式会社日本相互貯蓄銀行、株式会社摂津貯蓄銀行および株式会社第一相互貯蓄銀行の9貯蓄銀行の合併により株式会社日本貯蓄銀行設立。

昭和23(1948)年7月

株式会社日本貯蓄銀行、普通銀行に転換するとともに、商号を株式会社協和銀行と変更。

平成3(1991)年4月

株式会社協和銀行と株式会社埼玉銀行が対等合併し、株式会社協和埼玉銀行となる。

平成3(1991)年10月

第1次長期経営計画「ニューリテール1」スタート。

平成4(1992)年9月

「株式会社あさひ銀行」に商号変更。

平成5(1993)年3月

統合オンラインシステム全店移行完了。

平成6(1994)年4月

第2次長期経営計画「ニューリテール2」スタート。

平成8(1996)年3月

信託子会社「あさひ信託銀行株式会社」設立。

平成9(1997)年4月

第3次長期経営計画「あさひクオリティ」スタート。

平成9(1997)年8月

第1回優先株式1,000億円を発行。

平成10(1998)年11月

「あさひポイントバンク」発売開始。

平成10(1998)年12月

投資信託の窓口販売スタート
(平成13年5月現在で取扱い
ファンド数24本)。



平成11(1999)年3月期

住宅ローン残高5兆円突破。

平成11(1999)年3月

第三者割当増資による普通株式1,448億円を発行。
第1回第2種優先株式3,000億円、第2回第2種優先株式1,000億円を発行。
経営健全化計画発表。

平成11(1999)年4月

第4次長期経営計画「リテール・イノベーション・プラン」スタート。

平成11(1999)年12月

個人預金残高12兆円突破。

平成12(2000)年1月

「あさひポイントバンク」100万先突破。

平成12(2000)年3月

平成8年度から平成12年度の5年間で、住宅ローンが2兆1,587億円増加
(都銀No.1)。

平成12(2000)年6月

執行役員制度導入。

平成12(2000)年9月

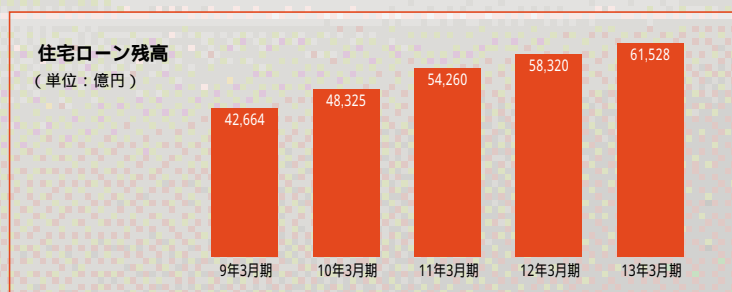
5年後を展望した経営ビジョン
「リテール新世紀」を発表。

**平成13(2001)年1月**

横浜銀行とのATM相互開放。

平成13(2001)年3月期

住宅ローン残高6兆円突破。

**平成13(2001)年3月**

「あさひポイントバンク」200万先突破。

平成13(2001)年4月

「あさひリテール証券株式会社」発足。

**平成13(2001)年5月**

東京三菱銀行との海外業務提携合意。